

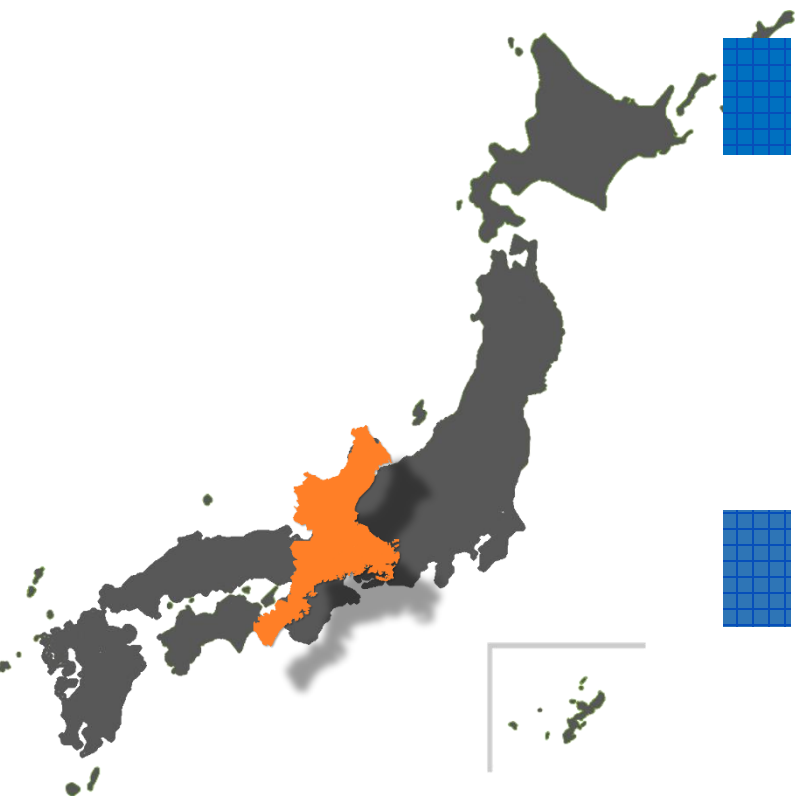
地方から始める「空の移動革命」

～次世代モビリティを活用した豊かな地域社会～

三重県

An aerial photograph of a large bay or inlet, densely populated with numerous small, forested islands. The water is dark, and many rectangular wooden racks are visible, extending from the islands and into the water, indicating a significant aquaculture industry. In the background, a city or town is visible on the shore, with buildings and infrastructure. The sky is overcast with some clouds.

Part1 : 現状と方向性



位置と地勢

日本列島のほぼ中央に位置し、人口約180万人。大都市圏である愛知と大阪に挟まれており、北部は商工業が盛んな地域である一方、南部は国立公園や世界遺産といった地域資源が豊富。

県内には6つの**有人離島あり**。

交通状況

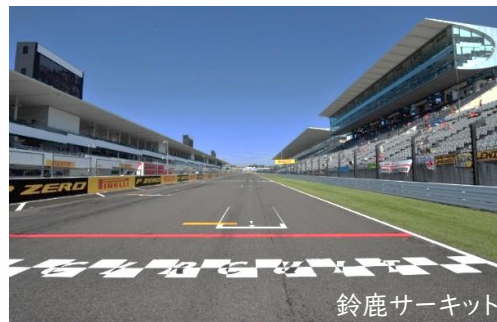
高速道路網は東西の都市圏との結節や県内縦断的に整備。鉄道網は、名古屋や関西方面からの近鉄線、J R線を幹線とし、その他ローカル路線が運行しているが、**新幹線の駅はない**。また、**空港もない**ため、愛知県や大阪府の空港を利用。

※空港と新幹線駅の両方が無いのは三重県含め3県のみ（三重県調べ）

新幹線も空港も無く、何事においても自他共に認める“中位県”

2 / それも三重県なんです。。。

ポテンシャルは高いんです



過疎化・人口減少に伴う地域存続の不安

特に都市部から物理的距離がある県の南部地域では過疎化・人口減少に伴う問題が顕著

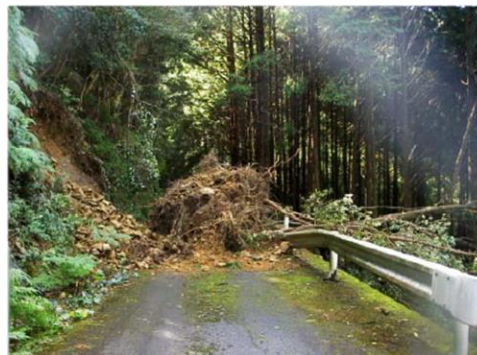
生活利便性
低下

過疎地域や離島における交通インフラ維持の懸念



観光地への
移動制約

観光地への物理的制約による入込減の懸念



災害時
リスク増大

災害のインフラ断絶による孤立懸念

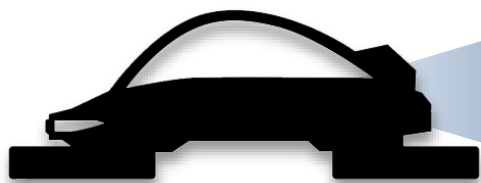
気候変動

Society5.0

感染症対策

etc

次世代空モビリティを活用し、**新たなビジネス実装**を通じて**地域の様々な課題を解決**し、**地方の豊かさを活かした持続可能な社会の創出**を目指す。



新たなビジネス

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | 観光産業での
新たな価値の創出 |
| 2 | 離島・過疎地域など
生活不便地の利便性向上 |
| 3 | 産業の効率化・
災害時の緊急支援 |



5 県一押しユースケース

ケース① 観光

空港と観光地を接続し、移動時間短縮による入込客数と滞在時間の増加に。



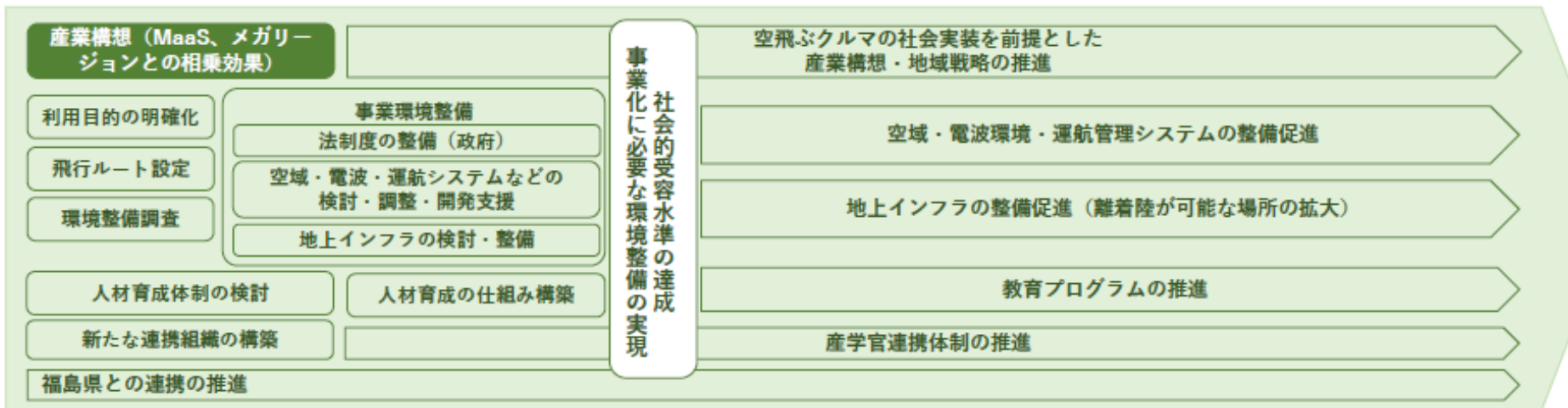
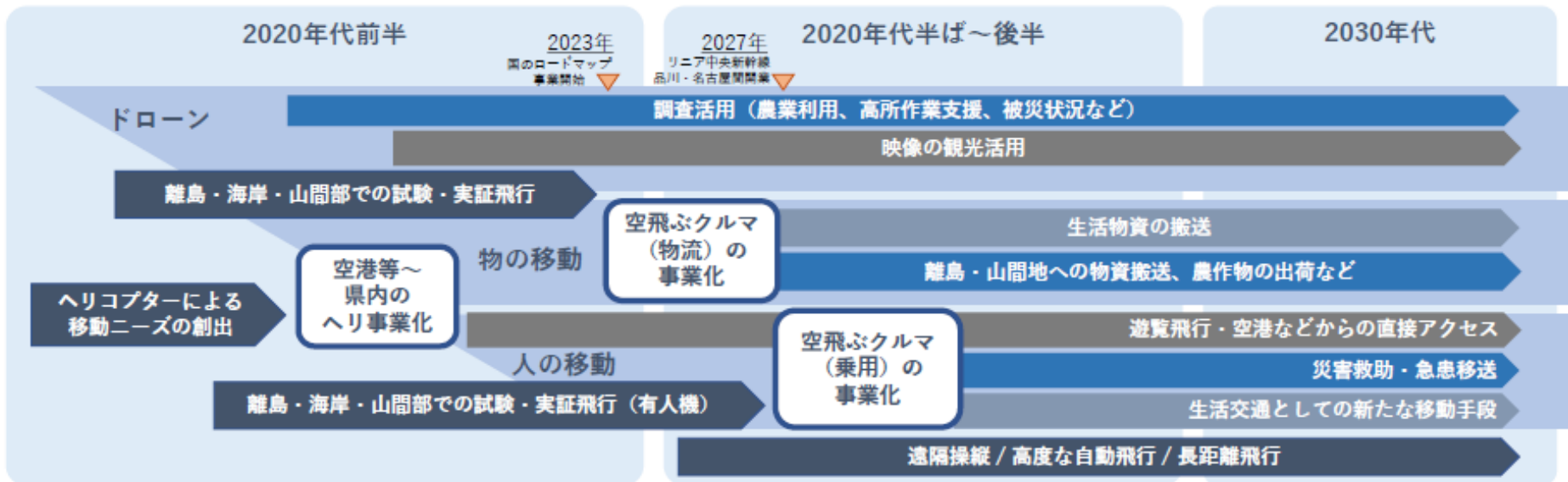
ケース② 離島

本土と離島を接続。定期船を補完し、利便性向上や緊急時対応を可能に。



6 実用化への歩み

2020年3月に「空飛ぶクルマ」実用化に向けた独自のロードマップを作成。以降2年間、「空の移動革命」実現に向けて強力かつ積極的に取組を推進。



防災・産業
生活支援
観光資源

戦略
制度・インフラ
人材
連携

7 関係者様との連携体制構築

事業者様



ANA



AIRMOBILITY



TOKIO MARINE
NICHIDO

東京海上日動



JAPAN AIRLINES

自治体



福島県



UIC2

協定締結先以外の皆様とも広く連携

An aerial, black and white photograph of a large bay or inlet. The water is dark, and numerous small, forested islands are scattered throughout. In the foreground and middle ground, many rectangular wooden structures, likely for aquaculture, are visible in the water. The background shows a city or town built on a hillside, with mountains in the distance under a cloudy sky.

Part2：事業者の皆様に対して

ニーズに応じたベストなルートを



実用化やその前段階の実証実験に適したフィールドをご提案。
地方だからこそその人口の低密度地域や海沿い、山間部等が豊富。
事業者と地域それぞれのニーズを把握し、適切なルート創りをお手伝い。

Point

1 対岸空港との接続による**移動時間短縮の優位性**

Point

2 海岸沿い県内都市が**一定間隔で立地**

Point

3 リアス式海岸は**風光明媚**なだけでなく**接続可能性も大**

Point

4 山間部にも**ポテンシャルの高い観光地**がまだまだ豊富

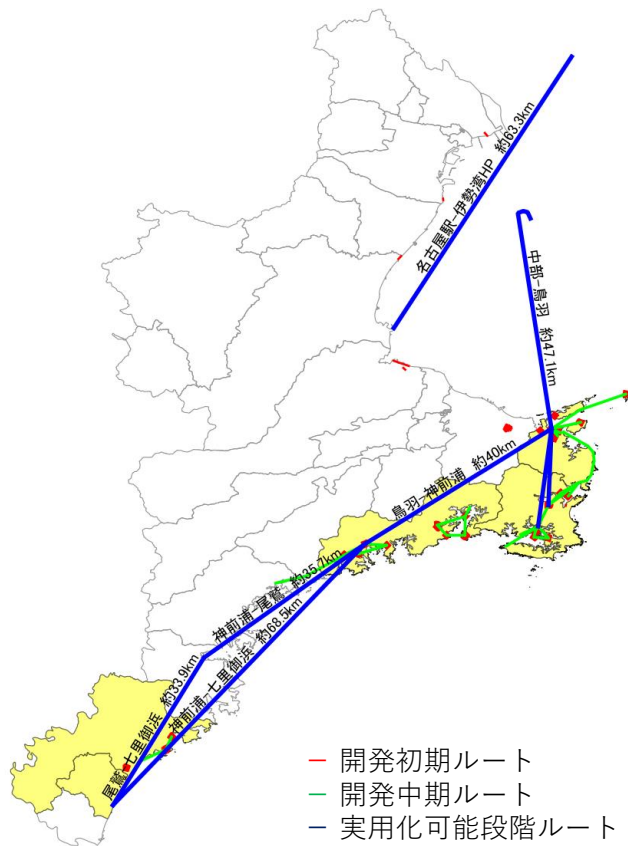
Point

5 **大規模災害時**の孤立懸念地域における**インフラ**として

参考～県としての蓄積～

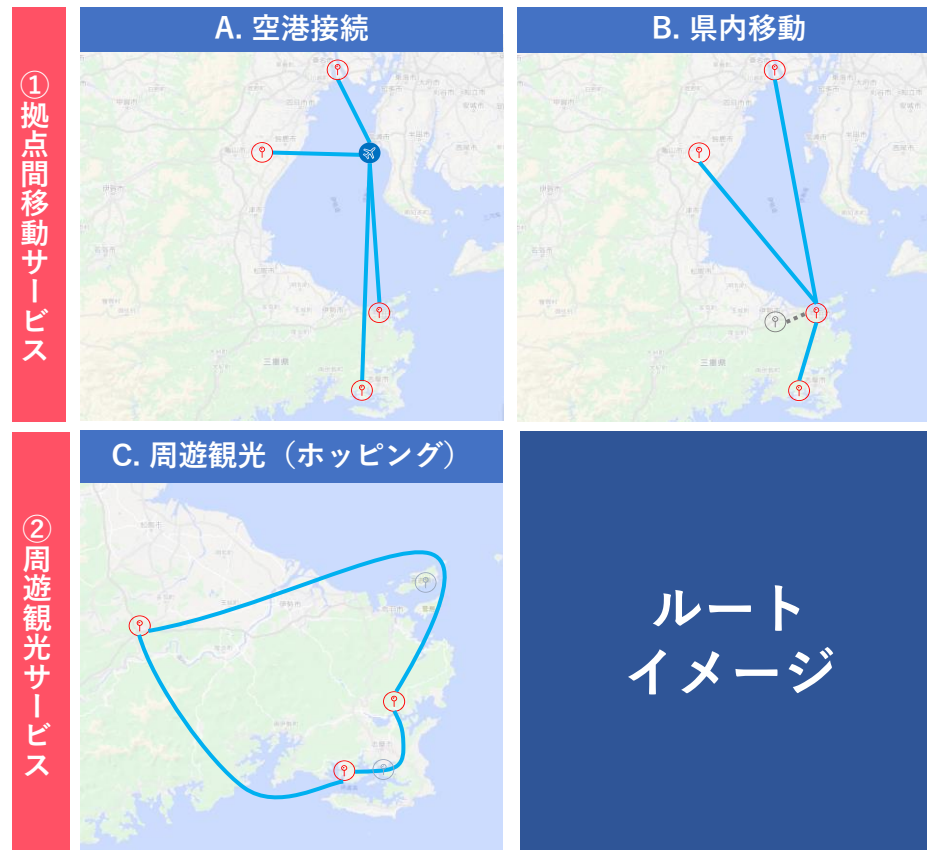
飛行ルート策定事業 (R2)

実証実験や実用化に適した場所、ルートを調査
(受託：中日本航空株式会社様)



移動需要創出事業 (R3)

初期ビジネスモデルの検討とオペレーション体制の整理・検討
(受託：日本航空株式会社様)



将来につながる実施場所の選定



実証実験等に適したフィールド選定に取り組みます。
まだ不明な部分が多い状況の中、県内のリソースを持ち寄りながら、ふさわしい場所を共に模索します。

そのほか、場外離着陸場や公共用地、民間敷地など、幅広く検討。

一例：



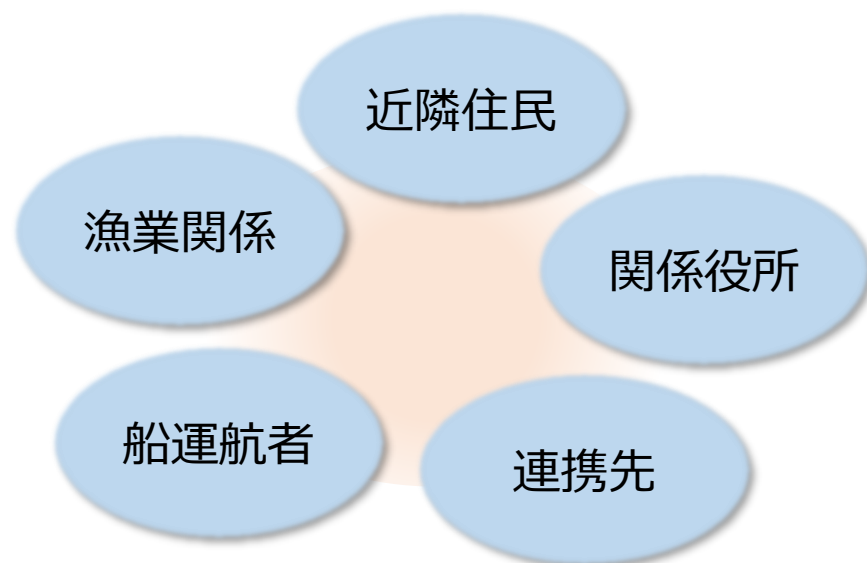
注：上記における空飛ぶクルマの実証実施が確約されているわけではありません。

必要な手続き関係をサポート



ドローンや「空飛ぶクルマ」を飛行させるためには、多くの関係先に対する届け出や調整が生じます。

煩雑かつ漏れが生じやすい諸調整・手続き関係が適切に進むようフォローするとともに、連携先となる事業者等、関係者との“つなぎ”を行います。



サポート④ 県内関係者の期待大

地域受容性向上を通じた将来のスムーズな実装環境整備



空の活用には地域理解が不可欠。

活用メリットの普及、関係者での利活用方法の検討、実証実験の公開などを通じた受容性の向上により、地域でスムーズに実装できる地盤整備に取り組んでいます。



県内関係者による利活用検討



シンポジウムの開催



関係者を巻き込んだ実証実験

R4年度には関係者間での情報共有や一体的に取り組むための仕組みを検討。

地域ニーズを知悉した県内市町との連携一体サポート



取組には地域ニーズの把握や地元関係者との調整など、地域の状況を深く、そして隅々まで把握した市町村との連携が不可欠。三重県では危機感と積極性を持った多くの市町と連携。地域ニーズの洗い出しや各種サポートを一体となって実施しています。

取組への賛同や協力実績のある市町



鈴鹿市



明和町



伊勢市



鳥羽市



志摩市



南伊勢町



熊野市



御浜町

今後も継続的に深化・拡大

参考～市町における実証事例～

これまで、市町の協力を得ながらドローンやヘリコプターを使用した実証を実施

南伊勢町



ドローンを活用した産業利用検討

熊野市



ドローンを活用した産業利用検討

鈴鹿市



ヘリコプターを活用した空飛ぶクルマ
ビジネスモデル検証

鳥羽市



ドローンによるナビシステム検証
災害時のドローン情報収集確認

志摩市



離島へのドローン物流実証



ヘリコプターを活用した空飛ぶクルマ
飛行ルート検証、ビジネスモデル検証



災害時を想定したUTM検証

三重県ではビジネスフィールドの提供を通じて、
「空飛ぶクルマ」を活用した地域課題の解決を図り、
地方の特色を活かしながら
持続可能で都市部より豊かな社会の実現を
めざしています。

今後の三重県にご注目下さい。